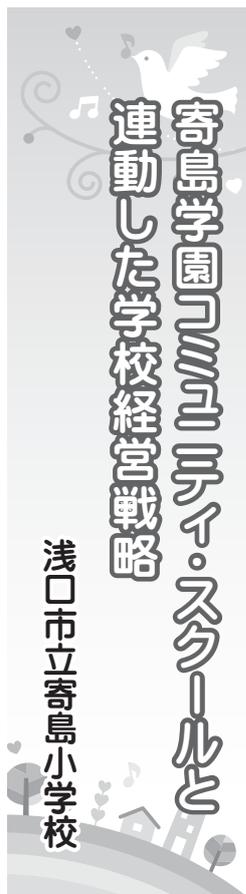


# 広げよう！優良実践の輪！

～ 令和2年度 優良実践校の取組 ～

取組 3



## 1 はじめに

本校は、浅口市の沿岸部に位置している児童数170名（令和2年度）の学校です。

寄島地区には保育園、こども園、小学校、中学校が各1校園ずつ設置され、交流活動等連携を進めてきたことから、全体の呼称として「寄島学園」と呼んでいます。そして、現在4校園の寄島学園コミュニティ・スクール（CS）として活動をしています。

## ② 強み（魅力）

海を中心とした自然や伝統的な行事等が挙げられました。

## ③ 弱み（課題）

学校では学力低下や規範意識の低下、教員の多忙化等、家庭では、メディア依存、過保護や子育てに関わる言動等、地域では、人口減少や人間関係の希薄化、子どもの活躍の場の減少等が挙げられました。

## 2 現状と課題

### （1）アンケートの結果から

小・中学校の児童生徒、保護者、教職員、地域住民にアンケート調査を実施しました。

### ① 育てたい子どもの姿

「思いやり」などの徳育や、「あいさつ」などの主体性に関することが多い一方で、「寄島を愛する子」は少なく、人口減少が進むこの地域では、大きな課題であると感じました。

## 3 取組内容

### （1）組織体制の構築

① 校内に全職員参加の4つのプロジェクトチームを設置し、CSの実働部会と連動し、地域を含めたチーム寄島で、子どもの成長と、地域の活性化に取り組みました。

この体制を実働化する組織にするために、チーム全員参加による学校評価書・アクションシート等を作成し、校内チームやCS部会のアクションの見える化を図り、学校経営とCSとの連動が進むように仕掛けました。



CSと連動した校内組織体制

### （2）地域に開かれた教育課程「よりしま学」の開発

「よりしま学」とは、ふるさとに誇りをもつ子どもの育成をねらいとした地域学習です。「海」をテーマに海洋教育やSDGsの視点から「寄島に親しむ」「寄島を知る」「寄島を見つめる」「寄島に貢献・還元する」ことができるような内容を小学1年から中学3年までの生活科・総合的な学習の時間を核に配列し、子どもたちが寄島の強みを生かし、弱みを解決する学びにつながるようにします。

教員のフィールドワークや、地域住民、児童生徒等のアイデアを生かした熟議、授業実践を行いながら、「よりしま学」カ

リキュラムシートやストーリーシートを作成しました。今年度その追試を行い、よりよい学びにつながるよう改善をします。



様々な立場から意見を交わす熟議

## 4 おわりに

チームとして課題解決に取り組む組織集団の運営により、学習習慣や生活習慣等に少しずつ効果が現れてきましたが、自己肯定感が低い等の課題も見て取れました。

今後、それら課題解決へ向け、学校組織とCS組織の一体化による学校経営、持続可能なCS活動の推進を図っていききたいと思えます。

（校長 安田隆人）